

### 観光庁 2011年(年間値) 訪日外国人消費動向調査

# 1人当たり旅行中支出は11万3917円

#### 2011年 訪日外国人の1人当たり旅行支出額と旅行消費額

	1人当たりの支出額等			国籍別の消費額	
	a. 日本国内での旅行中支出額(円)	b. パッケージツアー参加費に含まれる国内収入額(円)	c. 旅行支出額(円) = a + b	d. 訪日外客数(人)	e. 訪日外国人旅行消費額(億円) = c × d
全体	113,917	16,902	130,819	6,218,747	8,135
韓国	63,614	12,012	75,626	1,658,067	1,254
台湾	82,508	23,995	106,503	993,972	1,059
香港	95,381	22,598	117,978	364,864	430
中国	164,358	23,937	188,295	1,043,245	1,964
タイ	117,963	26,067	144,030	144,969	209
シンガポール	130,164	15,031	145,196	111,354	162
マレーシア	134,757	13,249	148,006	81,516	121
インド	135,938	10,011	145,950	59,354	87
英国	148,897	9,443	158,340	140,099	222
ドイツ	131,354	7,815	139,168	80,772	112
フランス	147,964	12,732	160,696	95,438	153
ロシア	205,207	7,434	212,641	33,797	72
米国	134,405	9,313	143,718	565,887	813
カナダ	135,583	4,536	140,119	101,299	142
オーストラリア	176,564	21,865	198,429	162,578	323
その他	159,909	14,266	174,175	581,536	1,013

観光庁はこのほど、訪日外国人消費動向調査の2011年の結果をまとめた。四半期ごとの調査結果を年間値として集計。訪日外国人1人当たりの旅行中支出額は平均11万3917円で前年比1.0%増加した。訪日外国人の旅行消費の全体額は8135億円、東日本大震災の発生に伴う訪日旅行者数の減少で前年より29.2%減少した。

旅行中支出額には、パッケージツアー参加費に含まれる国内収入分は計上してはならない。主要市場では、韓国が6万3614円、中国が16万4358円、台湾が8万2508円、香港が9万5381円、米国が13万4405円となった。再訪意欲では必ず来たいという回答者の割合が58.2%で、前年から8.5%上昇した。

宿泊施設は、訪日外国人のほとんどがホテルを利用する。一方で滞在中に旅館を利用した割合は、中国の40.0%と高い。中国のほか、旅館を利用した割合は、韓国が35.1%、タイが34.3%、オーストラリアが31.5%、フランスが30.9%、台湾が30.8%だった。

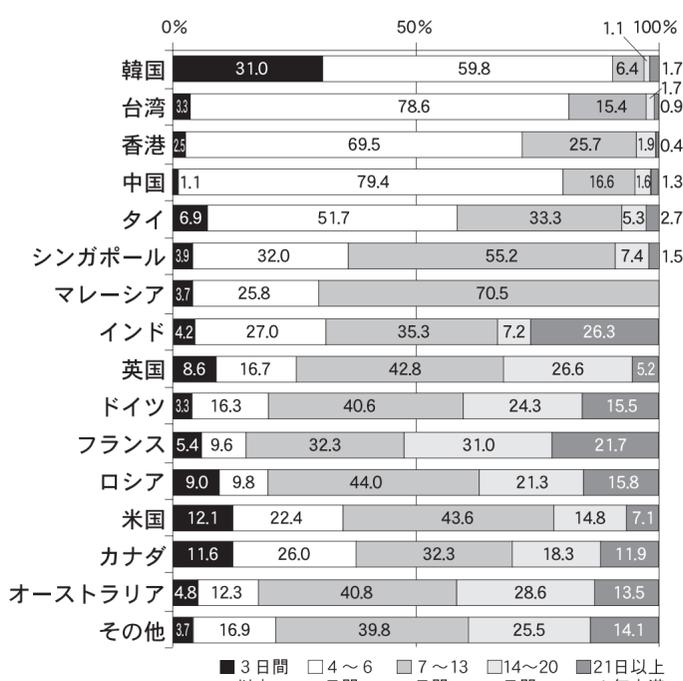
滞日数は、韓国が4.2泊、中国が5.8泊、台湾が4.9泊、香港が5.0泊、インドが15.9泊、ドイツが12.5泊、オーストラリアが11.9泊だった。

訪日外国人の動向を観光・レジャー目的の旅行者に限定すると、滞日数は、平均が6.2泊だった。利用した宿泊施設のタイプは、ホテルが中心だったが、旅館の利用も中国が4割に上った。

訪日外国人の動向を観光・レジャー目的の旅行者に限定すると、滞日数は、平均が6.2泊だった。利用した宿泊施設のタイプは、ホテルが中心だったが、旅館の利用も中国が4割に上った。

## 観光・レジャー目的の訪日外国人の動向

#### 滞在日数 (国籍別、観光・レジャー目的のみ)



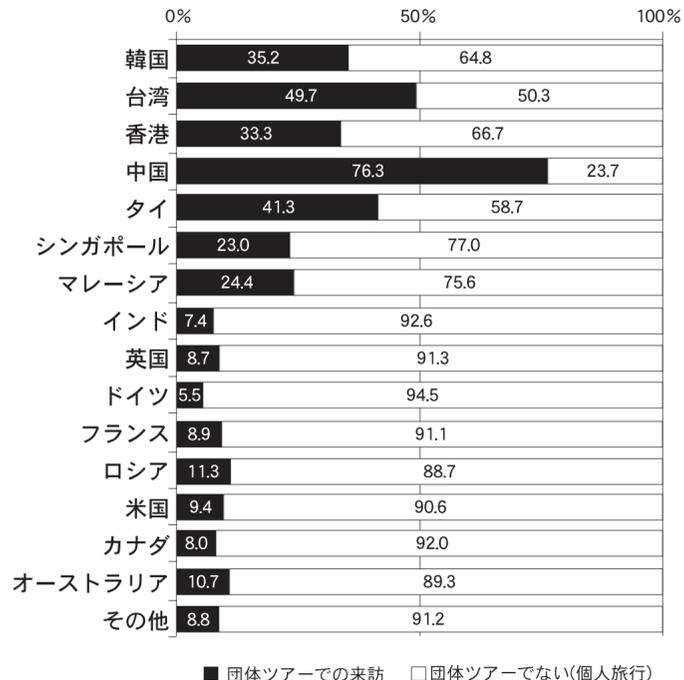
◇観光・レジャー目的で訪れた訪日外国人の滞在日数を国籍別にみると、韓国では約3割が「3日間以内」の滞在となっている。台湾、中国では「4～6日間」の割合が特に高い。インドやフランスでは「21日以上1年未満」の割合が高い。

◇利用した宿泊施設タイプ(複数回答)をみると、「ホテル」の利用が主流となっている。中国では「旅館」の利用率が4割と高くなっている。

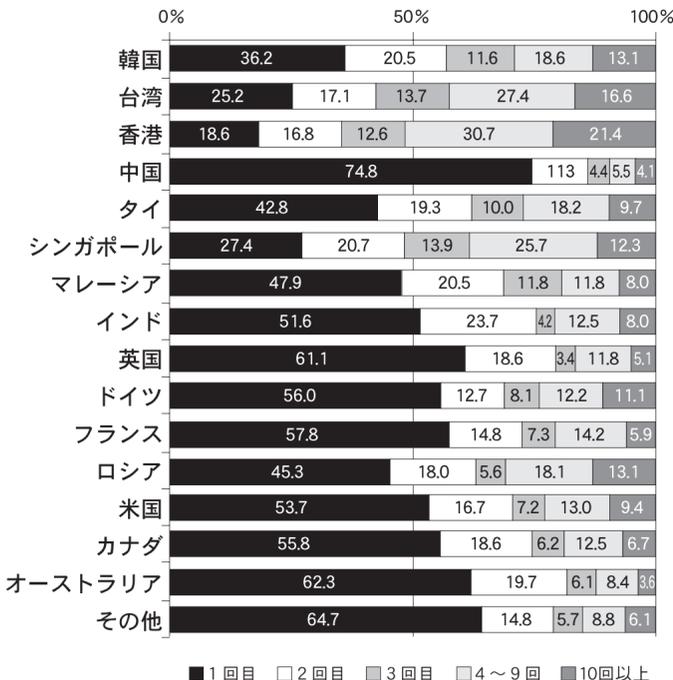
#### 利用した宿泊施設タイプ (複数回答) (国籍別、観光・レジャー目的のみ)

	ホテル(洋室中心)	旅館(和室中心)	別荘、コンドミニアム	親族・知人宅
韓国	84.4	13.4	0.9	8.3
台湾	85.9	30.8	1.3	5.0
香港	93.8	23.1	0.7	1.5
中国	90.6	40.0	1.0	3.6
タイ	81.5	34.3	1.6	10.3
シンガポール	87.1	35.1	0.9	7.9
マレーシア	87.5	17.9	0.9	10.6
インド	70.2	10.2	0.0	33.7
英国	79.6	23.7	5.3	14.5
ドイツ	73.0	20.6	2.4	18.6
フランス	73.8	30.9	2.1	20.2
ロシア	73.6	13.6	2.2	21.8
米国	80.0	16.7	2.3	17.0
カナダ	75.7	20.4	1.8	20.2
オーストラリア	80.5	31.5	5.2	6.7
その他	81.8	23.6	1.5	13.9

#### 団体ツアー参加状況 (国籍別、観光・レジャー目的のみ)



#### 日本への来訪回数 (国籍別、観光・レジャー目的のみ)



◇来訪回数をみると、台湾や香港、シンガポールでは2回目以上の割合が高いが、中国では「1回目」の割合が高い。ロシアを除く欧米では「1回目」の割合が高く、半数を超える。

◇団体ツアーの参加状況をみると、中国では参加率が76.3%と他の国籍に比べて高い。欧米では全般的に個人旅行が大半を占める。

**調査概要**  
10言語に対応したタッチパネル式のPCまたは紙の調査票を用い、外国語を話す調査員により聞き取り調査を実施した。調査は四半期ごとに実施したもので、四半期ごとの回答の回収数は6600~7000サンプル。調査場所は、国内11カ所の空港、港の国際線ターミナル搭乗待合ロビー。

調査データ